

# 沙羅の樹文庫だより

NO. 208 (24年3月号)



ふるさと 室生 犀星  
 雪あたたかくとけにけり  
 しとしとと融けゆけり  
 ひとりつつしみふかく  
 やわらかく  
 木の芽に息をふきかけり  
 もえよ  
 木の芽のうすみどり  
 もえよ  
 木の芽のうすみどり

いつもだったら、能登の人々もこんなふう  
にゆったり春を迎えたのでしょうかね。

## ★24年も予約制で開館★

### 第3日曜日と前日の土曜日(6月迄)

3月16日(土)、17日(日)  
 4月20日(土)、21日(日)  
 5月18日(土)、19日(日)

♥若葉のころのおはなし会♥

### ゲスト(町田語り手の会)を迎えて

5月18日(土)午後1:00~大きい人に  
 19日(日)午前10:30~子どもたちに

★6月15日(土)、16日(日):最終貸出★

★7月13日(土)、14日(日)★

最終返却は上記2日の間  
 (子どもは15日午前OK)  
 必ずお願いいたします。

### ★閉館記念おはなし会★

7月14日(日)午後:大きい人たちに  
 15日(月・海の日)午前:小さい人たちに

文庫・開館時間:土曜日 13:00~17:00  
 日曜日 10:00~15:00

子どものための読み聞かせ・おはなし会  
 文庫のある日曜日 10:30~11:00  
 おはなし沙羅・おはなし勉強会  
 文庫のある土曜日 10:30~12:30

### 沙羅の樹文庫

☎0557-51-3737 (090-6039-3782)

♥沙羅の樹分館ゆるかの里子ども文庫♥

☎0557-54-1910

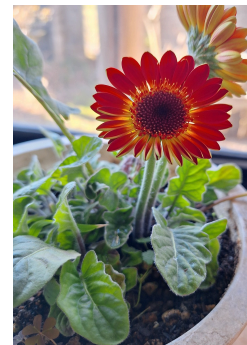
開室日:水曜日 13:00~15:00  
 :日曜日 10:00~15:00

24.3.9. ニコライ堂



久しぶりにお茶の水界隈を歩きました。昔は、ニコライ堂が他を制してすっと立っていたように思いましたが、周りに高いビルが林立していました。

文庫あれこれ◆表紙の詩を早くに選んでみたものの、暖かい日があったりで、もっと今に近い詩を探さねばと考えていたら、何とまた東京に、ほんのり雪が降りました。◆表紙の写真は、今USAに短期留学(バリエで)中の孫Sが東の間のニューヨーク見物に。◆最近とみに、頭为天辺からつま



先まで衰えを感じているので、同じことを言ったり書いたりしていたら乞うお許しを。で、まあ人生の相棒との付き合いも小4からで、我らには色々記念日がありまして、その一つ、相棒の誕生日に湯河原に行ってきました。300年続く宿ということでした。部屋の天井に使われている杉材や部屋の佇まいは昔が偲ばれ、あっ、温泉(部屋)はグーでした。昨夏に続いて湯河原古宿制覇(秘湯カードに印増えて)。◆昨日は国際女性デー?とやらで、新聞も関係記事満載。ミモザが国際女性デーの花とか(上のガーベラも下のミモザの写真もいつものバラのSさんから)。◆この時期は文庫開けてからの10数年、子どもたちの卒業を見守ってきました。去年は、読書家3人が大学へ1人が高校へと希望に燃えて巣立って行きました。今年も文庫の本をたくさん読んで大きくなったHちゃん



と孫Eが中学生。

ついこの前まで赤ちゃんだったのに♥いい旅立ちを祈ります。来年からは見送りができないのは淋しい限りですが、それはゆるかの里子ども文庫にお任せしましょう。ゆるかの里にも、少しずつ利用者が増えてきたようです。本のある心地よい居場所になりますよう応援よろしく。◆沙羅の樹おはなし会グループは、閉館後もできる限り、伊豆高原BASEへ読み聞かせに通います♥(西村)



# 栃木市蔵の街・友達3人 ゆったり旅

徒然なるままに・・・(さ・5)

ひな祭りの3月3日、蔵の街・栃木市で、  
〈全日本語りネット〉&栃木語り部の会共催のお  
はなし会《雑語り》が催され、一度、船に乗  
って蔵を見ながら川を往来したいと思っていた  
ので、仲の良い語り仲間とお話を聴きがて  
ら行ってきました。

日帰りはちょっときついかと思い、友人の  
乗せてくれる車で、前日午前用賀を出て、  
まずは小山のいちごの里でいちご狩り、は、  
しないで、売店で見たこともない白いイチゴ  
などを孫たちに送って。白いミルキーベリー。  
とちあいか、スカイベリー、そして、とちお  
とめ。白い🍓は孫たちも知らず、喜ばれまし



た。(家に帰って食  
べたら思っていたよ  
り美味)

その後、栃木市を  
スルーしてご飯茶碗  
を買いに益子まで  
(このち、何年生

きられるかわからないけど、夫婦八十歳の記  
念に)。

お店の中、  
これでは  
わかりま  
せんね。



栃木市  
に戻ってホテルに荷物を置いて、地元の友人  
のおすすめ小料理屋さんで、楽しく飲んで美  
味しく食べて、1日目終了。

2日目、宿泊は地元のサンルートでしたが  
一室3人個別ベッドで、朝食のヴァイキング  
がまたまた豊富、ここを決めた仲間に感謝。  
昔話や創作、紙芝居を満喫して、昼食がて  
ら街へ繰り出しました。



上の写真は、栃木市立  
美術館(もと、栃木町役  
場→栃木市役場、山本有三が通った小学校後)。  
右上は、有三文学記念館。そう言えば、吉屋  
信子もこの地で少女時代を過ごしたとか。(私  
は小学校の時、学級文庫に吉屋の少女小説が  
たくさんあって、それを読んで涙した記憶あ  
り。でもその後の私の考え方と読書歴に少な  
からず悪影響を)



雑の街らしく、個  
人商店、ホテルなど  
軒並みお雑さまが飾  
られ、目の保養がで  
きました。



昼食は、江戸時代  
からのお料理を出すお店(かね半)で、これ  
は何かしらと思うものも。凍み豆腐ならぬ凍  
み蒟蒻も。うっすら緑の梔子のおこわが最高。

そして愈々、蔵巡り?!  
いざ、船着場へ。



様々な色、羽のカモがたくさん泳いでいるこ



この川は巴波川と  
書いてうずまが  
わと読むそうで、  
江戸末期から明  
治にかけて、こ  
の栃木の街を、  
関東、南東北を  
結ぶ流通の要所  
にした川だそう  
ですが、今は、  
ほんの100メー  
トルほどを遊覧  
船が行き来。し



かし、蔵の建つ片側は、一軒の間屋だけで  
100mにわたっているそうです。予想に反し  
て短い船旅でしたが、天候にも恵まれ、船頭  
さんの歌も聞け、心豊かなゆったり旅でした。

NHK<フルカフェ系ハルさんの休日>に出てきた”銀行あと”の喫茶店でコーヒーも飲みました。



# 読んでから観るか、観てから読むか。 高木 京子

24.3月に入る子ども関係の本

原作を読んでから映画を観る方が好きです。映画を観てからだと読む気が失せます。

トマス・ハリスを初めて読んだのは、『羊たちの沈黙』でした。

女性連続猟奇殺人事件の捜査で、FBI 実習生のクラリスが、精神科医で監禁中の凶悪犯のレクター博士の助言を求めに行き、心理戦を繰り広げるサイコスリラーです。



緻密な描写と早い展開、ドキドキ、怖い怖い、でもノンストップで読みました。

すぐに映画も公開されました。主演はジョディ・フォスターとアンソニー・ホプキンスでとてもいい出来栄でした。

その後、トマス・ハリスの『ブラックサンデー』、『レッドドラゴン』も読みました。

『羊たちの沈黙』から10年、待望のレクター博士の続編『ハンニバル』が出版されました。『ハンニバル』では監獄から逃亡したレクター博士がよりバージョンアップしてモンスター度に磨きがかかります。残忍なシーンも増えました。

FBI の捜査官になったクラリスにレクタ

ー博士が再び接触します。『ハンニバル』はサイコホラーと言った印象です。

予想外の展開が何度かあり、クラリスとレクター博士の気持ちがどんどん近づいていきます。そして結末に驚かされました。

え～! ほんまかいな。

『ハンニバル』も映画化されました。主役のクラリスは、ジョディ・フォスターからジュリアン・ムーアに代わりました。ジュリアン・ムーアは素敵な女優さんですが、クラリスはジョディ・フォスターのイメージが強かったのでがっかりしました。「ミッションインポッシブル」のイーサン・ハントがキアヌ・リーブスになってしまったみたい。

そしてそして、映画「ハンニバル」は主役を変えるだけでなく、ラストもハリウッド映画にありがちな勧善懲悪な結末に変えられていました。

トマス・ハリスは、この変更を了承したのでしょうか? ほんも映画も何ともモヤモヤが残るハンニバルでした。興味がある方は、原作と映画を是非比べて観てください。



★高木さんは文庫会員。  
干支のせともの人形を作っています。

←今年の干支 龍  
文庫にも龍の干支飾ってあります。

## 絵本

『きょうものはらで』(エズラ・ジャック・キーツ 石津ちひろ訳 好学社 202) ID14031 \*テキストはアメリカの伝統的なぞうたを元に、O.A.ワーズワース(18C後半)作。

『水はうたいます』(まど・みちお詩 nakaban 絵 理論社 2023) ID14032.

『ゆきのゆきちゃん』(きくちちき ミシマ社 2023) ID14033.

『ガウディさんとドラゴンの街』(パウ・エストラダ作 宇野和美訳 教育評論社 2023) ID14034

## 読みもの

『うちへ帰れなくなったパパ』(ラグンビルド・ニルスツン作 山内清子訳 はたこうしろう絵 徳間書店 1995) ID14036

『ナイチンゲールが歌ってる』(ルーマ・ゴッデン作 脇明子訳 岩波少年文庫 2023)

ID14037

『アナグマの森へ』(アンソニー・マゴワン作 野口絵美訳 徳間書店 2023) ID14038

『行く手、はるかなれどグスタフ・ヴァーサ物語』(菱木晃子作 徳間書店 2024)

ID14039

## 歴史

『小学生でもわかる世界史』(ぴよぴよ速報 著 朝日新聞出版 2023) ID14040



## 参考文献

- 『生きるための絵本—命生まれるときから命尽きるときまでの絵本 127冊』(正置友子著 風間書房 2023) ID14041
- 『世界の児童文学をめぐる旅』(池田正孝著 エクスナレッジ 2020) ID14042
- 『英国児童文学の舞台を訪ねて』(池田正孝著 東京子ども図書館 2022) ID14043
- 『ファンタジーと英国文化—児童文学王国の名作をたどる』(安藤聡著 彩流社 2019) ID14044
- 『なぜ英国は児童文学王国なのか』(安藤聡著 平凡社 2023) ID14045
- 『石井桃子のことば』(中川李枝子ほか著 新潮社とんぼの本) ID14046

## 24.3月に入る大人の本

## フィクション

- 『墓じまいラブソディ』(垣谷美雨著 朝日新聞出版 2023) ID19242
- 『奏で手のヌフレツン』(西島伝法著 河出書房新社 2023) ID19243
- 『秘密の花園』(朝井まかて著 日本経済新聞出版 2024) ID19244
- 『シャーロック・ホームズの凱旋』(森見登美彦著 中央公論新社 2024) ID19245
- 『夜露がたり』(砂原浩太郎著 新潮社 2024) ID19246

- 『戦争語彙集』(オスタップ・スリヴィンスキー作 ロバート・キャンベル訳 岩波書店 2023) ID19240
- 『お城の人々』(ジョン・エイキン著 三辺律子訳 東京創元社 2023) ID19247
- 『夢の扉—マルセル・シュオップ名作名訳集』(マルセル・シュオップ著 上田敏・他訳 国書刊行会 2023) ID19248

## エッセイ

- 『Blank page 空っぽを満たす旅』(内田也哉子著 文藝春秋 2023) ID19241

## その他

- 『福翁夢中伝 上』『福翁夢中伝 下』(荒俣宏著 早川書房 2023) ID19251~2
- 『沖縄の生活史』(沖縄タイムス社編 みすず書房 2023) ID19235
- 『言葉に命を—ダーリの辞典ができるまで』(ボルドミンスキイ著 尾家順子訳 群像社 2017) ID19231
- 『宇宙人のためのせんりゅう入門』(暮田真名著 左右社 2023) ID19239
- 『語ってくんちえ 聞かせてくんちえ—飯館村 菅野テツ子のむかし語り』(長正サツキ・島津信子・山田裕子共編 山田裕子 2023) ID19232
- 『画にもかけない』(中川一政著 講談社 1984) ID19233
- 『穏やかなゴースト—画家・中園孔二を追って』(村岡俊也著 新潮社 2023) ID19234

## 生き方・教育

- 『「発達障害」と間違われる子どもたち』(成田奈緒子著 青春出版社 2023) ID19236
- 『学校に行けない「からだ」』(諸富祥彦著 図書文化 2022) ID19237

## 文庫

- 『落日燃ゆ』(城山三郎著 新潮文庫 1986) ID19221
- 『鏡花短篇集』(川村二郎編 岩波文庫 1987) ID19222
- 『湯どうぶつ牡丹雪』(山本一力著 角川文庫) ID19238

★以下寄贈していただきました。

- 『とんずら屋請負帖』(田牧大和著 角川文庫 2013) ID19223
- 『とんずら屋請負帖 仇討ち』(田牧大和著 角川文庫 2013) ID19224
- 『なさけ (<人情>時代小説傑作選)』(細谷正充編 PHP 文芸文庫 2018) ID19225
- 『まんぷく (<料理>時代小説傑作選)』(細谷正充編 PHP 文芸文庫 2020) ID19226
- 『いやし (<医療>時代小説傑作選)』(細谷正充編 PHP 文芸文庫 2021) ID19227
- 『えどめぐり (<名所>時代小説傑作選)』(細谷正充編 PHP 文芸文庫 2023) ID19228
- 『おつとめ (<仕事>時代小説傑作選)』(細谷正充編 PHP 文芸文庫 2023) ID19229
- 『なみだあめ (<哀愁>時代小説傑作選)』(細谷正充編 PHP 文芸文庫 2023) ID19230